

「これからの高等学校教育に求めること」に係る検討状況〔検討会議（H26.8.1）まで〕

□は、全体意見交換における委員からの発言等

これからの本県高等学校教育に求めること

目的

青森の未来を担う子どもたちをどのように育成していくのか

課題

グローバル化 多様化 少子化 等への対応

「オール青森」の視点

選択と集中

青森県が重視する視点

高校の「形」を考え直す！

<他県にない独自の尺度>
課題をチャンスに！

これまでの取組の検証

「繋がる」視点

どの高校でも共通して取り組むべきもの

情報収集・活用・発信能力 社会に対する順応性 学び続ける力 自発性

愛郷心 責任感 協調性 礼儀作法

困難に負けない精神力 体力 強靱な心身

各学校の特色を生かして取り組むべきもの

地域を支えることができる人財の育成

地域経済に貢献できる有為な人財の育成

社会をリードするエリート人財の育成

地域と一体になった活動

世界に立ち向かっていく人財の育成

キャリア教育

たくさんの経験・体験 民間団体、企業、地域との連携・協力 大学と連携したレベルアップの仕組みづくり

グローバル教育

愛郷心・郷土愛 地元を愛し、地元で貢献できる人材の育成 外に出てみなければ中の良さはわからない

高校教育の質の確保

教員の資質向上 教員数の確保 市町村、事業所、保護者、地域住民からの学校支援
志ある教育者、子どもたちが尊敬できる教育者の育成 ICTの活用

高校の規模・配置に関して留意すべき視点

県内どこに住んでいても高校教育を受けられることができる環境

教育効果を上げるには一定の規模による学校の活性化が必要

生徒や保護者の負担を考慮する必要

バランスを
どう取るか

250人位の生徒がいれば部活動を選ぶことができ活性化

地域に学校を残してその地域の伝統を継承していくことも必要

多くの選択肢から子どもたちが自ら選択できることが大切

これからの本県高等学校教育に求めること

青森県が重視する視点

オール青森で支える子どもたちの育成 ・ これまでの取組の検証

共通性：青森県の高校生が共通して身に付ける力（生きる力）

確かな学力：情報収集・活用・発信能力、学び続ける力等

- 基礎的・基本的な知識・技術
- 基礎的・基本的な知識・技術を活用して課題を解決する力
- 主体的に学習に取り組む意欲・態度

豊かな心：愛郷心、責任感、協調性等

- 社会の発展に寄与する態度を養うために必要な「公共心」や「倫理観」
- 社会奉仕の精神、他者への思いやり

健やかな体：困難に負けない精神力、体力等

- 健康の保持増進のための実践力

多様性：各学校の特色を生かし集中して育成する人財

各学校における教育活動を通して、**市民性**を身に付けて**地域社会**を支える人財を育成

上級学校へ進学してより**専門的な知識や技術**を身に付け、**地域社会や産業の発展**に貢献する人財を育成

選抜性の強い大学への進学に対応した教育課程を設定し、**社会を牽引**する人財を育成

◇「生きる」「働く」「学ぶ」をつなぐ**キャリア教育** → 生きる力の育成

◇「郷土理解」に基づく**グローバル教育** → 「青森を知って世界に貢献する人財」「世界を知って青森に貢献する人財」の育成

◇「教員の資質向上」「教員数確保」「市町村、保護者等からの学校支援」「インクルーシブ教育・学び直し」「ICTの活用」

→ **高校教育の質の確保**

本県高等学校教育に求めることを実現するために、学校はどうあればいいのか？

分野別にみる2030年のめざす姿



産業・雇用分野 ～仕事づくりと所得の向上～

成長3分野での産業の創出・強化と外貨獲得

「世界のブランド」をめざす

AGRI

あおもり「アグリ」

農林水産を核とした「アグリ」分野について、本県の強みである食を更に伸ばし、生産性・収益性を向上させていくことが重要です。

新たなビジネスが創出されている

LIFE

あおもり「ライフ」

医療・健康・福祉の「ライフ」分野について、人口減少、少子化、高齢化の加速により、今後こうした社会変化に対応する産業の需要が大幅に増加することが見込まれます。

産業と人財が集まる

GREEN

あおもり「グリーン」

環境・エネルギーの「グリーン」分野について、本県の強みであるエネルギーを生かし、関連産業を創出していくことが重要です。

個性的な魅力具备了

TOURISM

あおもり「ツーリズム」

人口減少社会でも多くの観光客を誘致し交流人口を拡大することで、外貨を獲得することができます。

国内外で支持される

BUSINESS

あおもり「ビジネス」

本県の地域資源や優秀な人財などが結集すれば世界をリードする産業を確立できるはずです。

魅力あふれる

WORK

あおもり「ワーク」

恵まれた自然や職住環境などがそろった本県では、豊かな生活と両立した魅力あふれる「仕事」が実現するはずです。



安全・安心、健康分野 ～命と暮らしを守る～

健康で長生きな青森県

短命県を克服するためには、県民のみなさんが自ら生活習慣などの改善に取り組むことが重要です。

安心して子どもを産み育てられる

「最適の地」

人口減少と少子化が進行する中、未来の青森県づくりには子どもを健やかに産み育てられる環境が必要です。

みんなで作る

安全・安心な青森県

災害や危機などに日頃から備えることが、暮らしを支えるだけでなく、本県の自然や産業を守ることに繋がります。



環境分野

～自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会の形成～

自然と共生する暮らし

自然との共生なくして豊かな暮らしや本県の農林水産業などの「生業(なりわい)」は成り立ちません。

循環型社会の実現 低炭素社会の実現

省資源と省エネルギーの取組は、ともに環境負荷を軽減し、地球温暖化対策として重要です。

環境にやさしい青森県民

環境にやさしい行動をすることは、自分自身の存在や次世代の子どもたちを守ることにもなります。



教育、人づくり分野 ～生活創造社会の礎～

夢や志の実現に 向かって挑戦する青森県民

社会全体で育む 「生きる力」

どこにいても、ふるさとを思い、愛する気持ちを礎として立ち向かう人財が、本県発展の原動力となります。

人が育ち、磨かれ、 活躍する青森県

人口減少が進む中、未来を担う人財の活躍が、本県の活性化につながるのです。

生きがいを感じ、 心豊かに暮らせる地域

県民のみなさんが、人生の各段階において多様な生き方、働き方を選択できることが重要です。

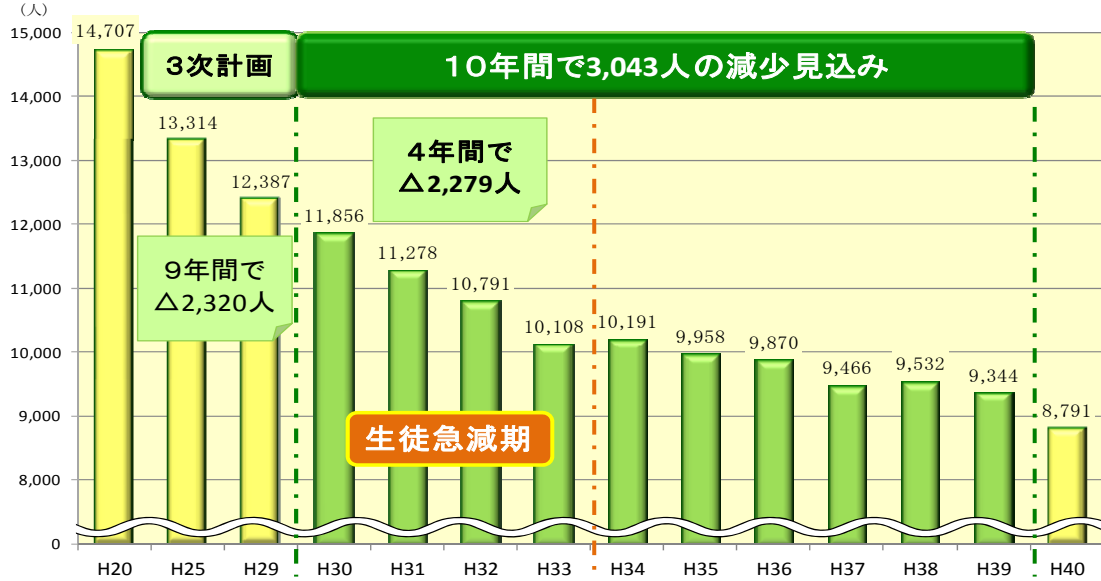
歴史・文化が息づく 青森県

県民のみなさんが、郷土の歴史・文化に誇りを持ち、本県の良さを伝えることで、本県の歴史・文化が引き継がれていきます。

スポーツが盛んな 青森県

スポーツを盛んにすることが、県民の健康で豊かな生活の実現と地域活性化につながります。

中学校卒業（見込）者数の推移



平成30年度から33年度まで、毎年500人程度減少する生徒急減期。この4年間の減少は、3次計画の9年間の減少数に匹敵。

地区ごとの中学校卒業（見込）者数等の推移

(単位：人)

	第2次 実施計画 (H17~)	第3次実施計画		次期計画（予定）					
		【前期】 (H21~)	【後期】 (H26~)	【前期】					【後期】 (H35~)
		H20	H25	H29	H30	H31	H32	H33	H34
東青地区	3,262	2,958	2,958	2,836	2,623	2,601	2,396	2,477	2,209
西北地区	1,621	1,509	1,350	1,283	1,068	1,168	1,040	992	845
中南地区	3,122	2,850	2,543	2,355	2,394	2,217	2,089	2,118	1,918
上北地区	2,287	2,119	1,969	1,901	1,807	1,723	1,647	1,577	1,510
下北地区	896	782	700	698	658	584	574	587	524
三八地区	3,519	3,096	2,867	2,783	2,728	2,498	2,362	2,440	2,338
県 計	14,707	13,314	12,387	11,856	11,278	10,791	10,108	10,191	9,344
参 考 (前年比較)	-	-	-	△531	△578	△487	△683	83	-
参 考 (期間内増減)	△ 1,449	△1,393	△927	△2,196					△847
募集学級数 (単位：学級)	280	248	229	△3,043					
増減	△ 29	△ 32	△ 19	△ 51					

平成26年度募集学級数及び募集人数

(単位：学級、人)

	普通科等										職業教育を主とする専門学科								総合学科		地区計					
	普通科		理数科		英語・ 外国語科		スポーツ 科学科		表現科		農業科		工業科		水産科		商業科		家庭科		看護科		総合学科		地区計	
	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数	学級数	募集人数
東青地区	34	1,350			1	40	1	40					7	245			6	240					6	240	55	2,155
地区内割合		62.6%		0.0%		1.9%		1.9%			0.0%		11.4%		0.0%		11.1%		0.0%		0.0%		11.1%		100.0%	
西北地区	13	480	1	40						5	175	4	140										6	240	29	1,075
地区内割合		44.7%		3.7%		0.0%		0.0%		16.3%		13.0%		0.0%		0.0%		0.0%					22.3%		100.0%	
中南地区	24	950					1	40		6	220	7	245			7	280	2	80	1	40			48	1,855	
地区内割合		51.2%		0.0%		0.0%		2.2%		11.9%		13.2%		0.0%		15.1%		4.3%		2.2%		0.0%		0.0%	100.0%	
上北地区	23	895			1	40				6	210	5	175			6	235	1	40				4	160	46	1,755
地区内割合		51.0%		0.0%		2.3%		0.0%		11.9%		10.0%		0.0%		13.4%		2.3%		0.0%		0.0%		9.1%	100.0%	
下北地区	7	280			1	40						5	175										5	200	18	695
地区内割合		40.3%		0.0%		5.7%		0.0%		0.0%		25.2%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		28.8%	100.0%	
三八地区	29	1,130					1	40	1	30	3	105	7	245	4	140	4	160							49	1,850
地区内割合		61.1%		0.0%		0.0%		2.2%		1.6%		5.7%		13.2%		7.6%		8.6%		0.0%		0.0%		0.0%	100.0%	
合計	130	5,085	1	40	3	120	3	120	1	30	20	710	35	1,225	4	140	23	915	3	120	1	40	21	840	245	9,385
割合		54.2%		0.4%		1.3%		1.3%		0.3%		7.6%		13.1%		1.5%		9.7%		1.3%		0.4%		8.9%	100.0%	